

冬は葉っぱをめくって虫を探してみよう!

著者 一日一種
(イラストレーター・漫画家)

ヤツデの葉めくりは冬の昆虫探しの定番

ヤツデ

暗い場所でもよく育ち、庭木としてもよく植えられているので身近な場所でもよく見られる



「ハフ手」は葉がたくさん切れ込んでいるという意味で付いた名前。
7つか9つに分かれていることが多い。

冬にヤツデの葉裏によくいる虫

クロスジホソサジヨコバイ

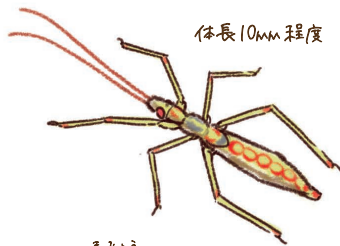


成虫
体長6mm程度

幼虫

通常「マエムキダマシ」
眼のように見えるのは
黒い模様で、実は頭は反対側

ヒゲナガサシガメ(幼虫)



体長10mm程度

奇妙な形・色をしており
虫好きには人気の種

アブラムシの仲間



テントウムシの仲間



アリガモの仲間



…その他多数

花が咲いているうちはハエやアブの仲間も来る
花期：11～12月ごろ



花らしく見えないが
これでヤツデは「咲いて」いる状態

